

○わがまちトーク課題における執行機関からの回答

【産業建設委員会】

課題No. 1・14 排水ポンプ場等の状況 【下水道整備課】
①西地区の排水ポンプ場の工事スケジュール及び関連する逆流防止弁の設置状況と予定。 ②東地区の排水ポンプ場及び逆流防止弁の設置予定。
①大手ポンプ場の土木工事の発注に向け準備中であり、静溪ポンプ場は詳細設計業務委託を実施中である。また他の左岸2基、右岸1基のポンプ場について今年度の実施設計に向けて事務調整中である。逆流防止弁については現在10箇所が設置済みであり、今年度は新たに4箇所を設置するための測量設計を実施中である。 ②東地区については、基本計画策定のための準備をしているところであり、排水ポンプ場及び逆流防止弁の設置については、地域住民の意見を聴きながら、京都府と連携をして検討していく。
課題No. 2 高潮による浸水被害の状況 【土木課】
東地区において高潮による浸水被害がどの程度発生しているか。(区域及び浸水の程度。)
東地区において高潮による浸水被害は、国道27号より北側の道路及び、志楽川付近の道路で発生しており、本年度(8月末時点)は通行規制を行うような被害は発生していないが、平成30年度は6回にわたって車両通行止めの規制を行った。
課題No. 2 高所避難所の把握状況 【危機管理・防災課】
津波発生時に避難できる高所避難所を把握しているかどうか。(把握している場合は、その施設数等。)
舞鶴市地域防災計画に指定緊急避難場所として、地震避難場所57箇所(津波55箇所)、津波避難場所9箇所指定している。
課題No. 3 浸水する避難所及び避難経路の把握状況 【危機管理・防災課】
大雨などにより浸水する市指定の避難所及び避難経路を把握しているかどうか。(把握している場合は、その箇所数等。)
舞鶴市地域防災計画において、浸水が想定され、1階または2階部分まで浸水する想定のある避難所について記載している。 自主避難所、拠点避難所、準拠点避難所の54箇所のうち、1階または2階部分まで浸水する想定される避難所は27箇所である。

課題No.13 災害情報の伝達方法の状況 【危機管理・防災課】

防災無線がどの程度設置されているか。(箇所数等。)

災害情報周知におけるFMまいづるの活用状況。(方針及び直近の実績。)

防災行政無線の屋外拡声子局は81箇所、戸別受信機は92箇所設置されている。FMまいづるについては、「災害時における緊急情報の放送に関する協定」を締結し、災害時における市民への緊急情報の放送を行なっている。

(平成30年度 FMまいづる災害放送 150回、1,345分)

課題No.15 大雨に対する資材提供の状況 【土木課】

大雨等による浸水に備えるために市民に提供している資材としてどのようなものがあるか。(資材の種類及び提供方法。)

大雨などによる家屋等への浸水被害軽減のため、市民の皆さんに土のうを提供する「土のうステーション」を市内に4箇所設置し、必要な数だけ各自で持ち帰って頂いている。なお、平成30年度は約20,000袋の土のうを貸し出した。